

水道トピックス

http://www.city.iruma.saitama.jp/sumai kurashi/jyosuido/index.html

VOL.14 (平成24年)

発行日:平成24年11月15日 発 行:入間市水道部

~ご存知ですか「入間市水道お客様センター」~



入間市 水道お客様センター

> 業務受託会社 プフジ地中情報株式会社



今年4月からお客様へのサービス向上を図るために、水道料金等に関する業務を「入間市水道お客様センター」で行っています。市役所から徒歩1~2分の場所に窓口を開設し、各種手続きを受け付けています。料金等でご質問などがございましたら、お気軽にお問い合わせください。

なお、業務は水道部が委託した民間事業者「フジ地中情報㈱」が行っています。

※個人情報の保護につきましては万全を期しておりますのでご安心ください。

主な業務:転居等に伴う水道使用開始や中止の受付

水道使用者の名義変更の受付 水道料金・下水道使用料の収納

支払方法の変更

検針に関する問い合わせ その他水道料金に関すること

住 所:入間市豊岡1丁目12番24号 エクレール1階

電 話:04-2960-1301(直通)

F A X: 04-2960-1303

受付時間:平日:午前8時~午後6時

土 · 日曜日:午前8時~正午

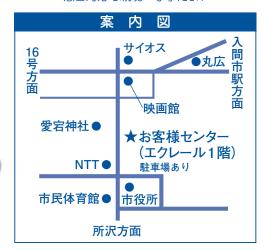
(祝日及び12月29日から1月3日は休業)

今号の内容

- p.1 入間市水道お客様センターの紹介
- p.2 備えあれば憂いなし・親子ダム施設等見学会
- p.3 災害に強い水道を目指して・平成23年度水道 事業会計の財務報告
- p.4 水道水を飲もう!・水道審議会 ほか



窓口対応も親切・丁寧だよ!



いざという時に備えましょう!

●水道部防災訓練の実施(報告)

入間市水道部では、今年度も8月19日(日)に入間市防災訓練に合わせて水道部防災訓練を行い、入間市管工事協同組合、入間市水道協会、フジ地中情報㈱の協力を得て、多くの方々に参加いただきました。皆さんも、いざという時のために、日頃から備えておきましょう!



衛星電話訓練 (鍵山浄水場にて)



非常用飲料水配付訓練(黒須第二子供広場にて)

備えあれば憂いなし

●水のくみ置きを習慣にしましょう!

東日本大震災から1年8ヶ月が経過しましたが、依然として防災への関心が高く、皆さんも何かしらの対策をされているかと思います。地震は水道などのライフラインに大きな影響を及ぼします。そこで大切なのが「水のくみ置き」です。人間が生命を維持するために必要な水量は、1人1日3リットル前後と言われています。地震直後に役立つのはくみ置きした水道水です。今日からくみ置きを実践してみましょう。

★水のくみ置き方法★

- ・水道水を清潔でふたのできる容器に口元までいっぱいに入れてください。
- 直射日光を避け、涼しい場所で保管して下さい。
- ・目安として夏場で3日、冬場で1週間は保管できます。
- 古い水は掃除や洗濯など飲用以外の用途にお使いください。



この給水車で水を運ぶよ!

●もしもの時に… 災害時の応急給水所

災害時には、市民 の皆様へ最低限の水 を供給するため、市 役所及び各支所(東 金子・金子・宮寺・ 藤沢・西武)に応急 給水所を開設します ので、皆さん覚えて おきましょう!



親子ダム施設等見学会

水道部では、市民に水道について理解と関心を高めてもらう目的として、毎年親子ダム施設等見学会を実施しています。今年は、7月28日出に小学4年生とその保護者を対象に15組31名(応募者35組:抽選により決定)の参加により開催しました。



見学先は、鍵山浄水場と秩父市にある浦山ダムです。バスの中では移動時間を利用して参加者による自己紹介や水道に関するビデオ上映を行い、現地では水の大切さや自然の循環などを講義で学び、水道水ができるまでの過程やダム施設内の見学を行いました。

参加者からは「浄水場での塩素消毒による実験が良かった」・「真夏なのにダムの地下はすごく涼しかった」・「水資源の大切さを学ぶことができた」・「夏休みに親子で過ごす貴重な時間となった」などの感想をいただき、大変有意義な1日となりました。



僕も鍵山浄水場へ行ってみたよ!

災害が起きでも 大丈夫?

災害に強い水道を目指して

水道部では災害時でも市民の皆さんに安心していただけるよう、 様々な取り組みを行っています。今後も災害に強い水道を目指します。

●平成24年度の災害対策の主な取り組み

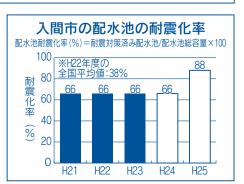
- 扇町屋配水場耐震化工事(継続事業)
- 配水管路耐震化工事(老朽管更新)
- 給水袋(60:リュック型)の購入
- 簡易型応急給水タンクの購入
- 衛星電話の購入
- 貯蔵品配水管材料の購入



扇町屋配水場の耐震化工事の様子だね!

大間市の管路の耐震化率 管路の耐震化率(%) = 耐震管延長/管路総延長×100 28.0 27.0 耐震 26.0 化率 25.0 ② 24.0 ② 23.0 ② 22.0 H21 H22 H23 H24 H25

※H24年度以降は計画値です。管路とは、配水管、導水管、送水管のことを言います。 (H23:耐震管延長124.7km・管路総延長485.8km)



※H25年度から耐震化率が上がるのは、H24年度で扇町屋配水場の耐震化工事が完了するためです。残りは南峯配水池(1池)と西武第一配水池(2池)になります。

どん念ことに 部金を使っているの 8 水道事業会計の財務報告

平成23年度は比較的降雨に恵まれたため、水需要については年間を通して安定給水を行うことができました。 収益的収支(水道事業を運営するための財源と経費)については、事業収益から事業費(税抜額)を差し引いた当年度純利益は約1億23万円となりました。これらの利益は、老朽化した水道施設や管路の更新など建設投資等の財源として積み立てました。

資本的収支(水道施設をつくるための財源と経費)については、土地区画整理事業地内の配水管布設工事や ぶしニュータウン地内仕切弁取替工事及び扇町屋配水場耐震化事業(平成23・24年度継続事業)などを実施しました。資本的収入額が資本的支出額に不足する額約4億1,443万円は、積立金や現金支出を伴わない減価償却費などによる過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

【業務概況】 ※有収水量:水道料金の対象となる水量

	給水戸数(戸)	給水人口(人)	年間配水量(m³)	有収水量(m³)	有収率(%)	1人1日平均配水量(ℓ)
平成23年度	63,491	150,252	17,366,990	16,295,212	93.83	316
平成22年度	63,062	150,640	17,813,190	16,658,005	93.52	324
前年度対比	429	△ 388	△ 446,200	△ 362,793	0.31	△ 8

収益的収支(税抜)

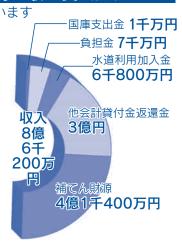
資本的収支(税込)

※グラフは、見やすいように百万の単位以下を調整し、表示しています









水道水を飲もう!

皆さん、最近水道水を飲みましたか?ペットボトル水を購入して飲んでいる方も多いのではないでしょうか。実は、水道水は様々な面でとてもお得です!

ご存知ですか?入間市の水道水は、500mlあたり約0.355円(一般用口径20ミリで算出)です。ペットボトル水1本購入するより断然安くとても経済的ですよね。

また、水道水は「水道法」という法律で義務づけられた「50項目」の検査基準があり、とても厳しい検査をクリアしているのです。ペットボトル水は「食品衛生法」という法律で義務付けられた「18項目」の基準がありますが、水道水よりも少ないですね。

しかし、水道水はぬるくて、塩素のにおいが気になるという方もい



らっしゃるかと思います。そのような方は、水道水を氷や冷蔵庫などで冷やしたり、レモンなどの果汁を数滴垂らせばさらにおいしく飲むことができます。また、一度沸騰させたものを冷やして飲むことによりおいしくなります。ただし、沸騰させた水は、塩素の消毒効果がなくなり、空気中の雑菌が繁殖しやすくなるので、早く飲みきって下さい。

皆さん、体にも、お財布にも優しい水道水、ぜひ飲んでみてく ださい!!

入間市の水は、安心・安全!

※水のおいしさの判断は、個人の味覚により様々です。運動した後や水を飲む容器、周囲の雰囲気などにもより変化します。 特に水温は、水のおいしさを決める重要な要素になります。

水道部の組織図と主な業務内容

H24年度から組織が変更しました。 今後も皆さん、よろしくお願いします

水道施設課→施設整備担当 … 水道電路の設計及び施工監督等に関すること

ー浄・配水担当 … 水質管理と浄水場や配水場の管理運転等に関すること

水道審議会

入間市水道審議会は、水道事業の合理的な管理運営及び事業の適正化を図るため、昭和52年に設置されました。委員は15名で、知識経験者と水道使用者で構成されています。

現在水道審議会では、平成21年度に策定された「入間市水道ビジョン」の確認と評価を主に審議しています。審議会は10名まで傍聴出来ますので、水道事業に興味のある方は、ぜひ傍聴にいらしてください。傍聴の申込み方法は、開催時期(次回は、平成25年3月予定)に併せて市ホームページに掲載します。また、過去の水道審議会の内容も市ホームページに掲載していますので、ご覧ください。

·**水道審議会委員** (任期:平成24年1月1日~平成25年12月31日):

会長: 難波 博 副会長:村上哲司

委員: 荒井正武、 荒岡真由美、海老沢瞭子、片山 卓、金子邦男、

小堀八千代、 更科太一、 杉﨑一雄、 鈴木政昭、手塚勝宏、

二ノ宮小百合、林 恵子、 人見友章 (五十音順)



審議会の様子